

令和5年 大山崎町議会 第2回定例会

## 一般質問通告書

1. 徳本 修司
2. 小畠 孝信
3. 井上 治夫
4. 波多野 底砂
5. 島 一嘉
6. 井上 博明
7. 辻 真理子
8. 西田 光宏
9. 堀内 古比呂
10. 山中 一成
11. 朝子 直美

令和5年大山崎町議会第2回定例会一般質問（①-1/1）

質問者	徳本修司（れんごう大山崎）	
質問事項		答弁を求める者
1. 町立保育所の今後の在り方について  全国的に見ても保育所の民営化が進んでいる中、本町はなぜ民営化が進まないのか。		町長
2. 高齢者の方の移動手段について  (1) 本町において、地域公共交通会議が平成26年2月に第10回を開催されて以降、開催されていない。このような状況に至った理由は何か。  (2) 令和5年度の当初予算の中で、新事業として公共交通利用促進事業補助金があるが、どのような運用をされていくのか。		町長

令和5年大山崎町議会第2回定例会一般質問（②-1／2）

質問者	小畠 孝信（公明党）	
	質問事項	答弁を求める者
1. 自主防災組織について		町 長
<p>(1) 高齢者の人口比率は高止まりし、中でも75歳以上の人口比率が増え続ける中で、今後は、地域コミュニティの担い手を、自治会等に限定する必要はなく、子ども会や子ども食堂、NPOや企業など、多様な人材や組織が柔軟に連携する中で、安全に安心して暮らせる共助の仕組みを構築することも必要かと思うが、見解を問う。</p> <p>(2) 地域で助け合い、地域で命を守る体制作りを少しでも進めるために子育て世代が参加しやすい自治会のオンライン連絡を試験的に進めるべきと考えるが、見解を問う。</p> <p>(3) 「警戒レベル3」の行動（要援護者の行動予定確認、避難支援）  「警戒レベル4」の行動（危険な場所から全員避難）  「警戒レベル5」の行動（命の危険、直ちに安全確保）  自分や家族が「いつ」「何をするか」を時系列で具体的に整理した「我が家のマイ・タイムライン」の作成を町として推進すべきだと考えるが、見解を問う。</p> <p>(4) (3)と同様に自治会などの「コミュニティ・タイムライン」の作成を町として推進すべきだと考えるが、見解を問う。</p>		
2. 放課後児童クラブ（学童保育）について		町 長 教 育 長
<p>「学童保育の現状と保護者としての請願書」に紹介議員として署名させていただいたが、保護者の方が就労から自宅に帰ってくるまでの間に宿題を済ませ、安全な場所で時間を過ごすことを求めておられるのに対し、放課後児童クラブが応えられていない現状に驚きと不安を強く覚える。</p> <p>(1) 子どもが、けがをした時の対応について問う。</p>		

令和5年大山崎町議会第2回定例会一般質問（②-2／2）

質問者	小畠 孝信（公明党）	
質問事項		答弁を求める者
<p>①けがの対応は指導員がどのように理解しているか。</p> <p>②けがの再発防止策の立案・承認・実施はどのように進められているか。</p> <p>③子どもが、けがをするという事故に対する再発防止策があまりにも遅いと考えるが、責任者はいかがお考えか。</p> <p>(2) 児童の定員数と指導員数、部屋の使用面積は現状どうなっているのか。</p> <p>(3) 放課後児童クラブ内で宿題をする時間を取りっていない理由を問う。</p> <p>(4) 民間学童保育を町に誘致すべきと考えるが、見解を問う。</p>		

令和5年大山崎町議会第2回定例会一般質問（③-1／2）

質問者	井上治夫（日本共産党議員団）	
質問事項		答弁を求める者
1. 行き届いた教育について		町長 教育長
(1) 4月から大山崎中学校で自校方式による給食が始まっている。  「教育としての給食」がどのように進められているか。自校方式の優位性がどのように生かされているか。		
(2) 憲法では義務教育は無償とするとしている。大山崎町では小学校の修学旅行費を全額補助していた時もあった。  昨今、教育費の保護者負担が大きくなっている。中学校の給食費無償化予算は議会が否決したが、教育費の保護者負担を減らす考えを問う。		
2. 放課後児童クラブ（学童保育）の充実について		町長 教育長
(1) 1年間に学童保育で児童が過ごす時間は、学校にいる時間と同じとなっているが、国の学童保育への予算が極めて少ない。学校では教員不足が深刻となっている。学童保育指導員の不足を懸念する。今年度の現状を問う。		
(2) 学童保育の利用は今後も増える。大山崎町の学童保育の質はベテラン指導員の継続的雇用によって保たれてきた。3月議会では職員の雇用の見直しについて「数年前から正式な指導員という資格ができたので、それを踏まえて検討の余地がある」と答弁されている。指導員も教職員や保育士と同じように1クラブ40人の学童保育支援単位に応じて正規化すべきと考えるがいかがか。		
3. 中央公民館改修（複合施設建設）について		町長
(1) 住民の声をどのように聞いて進めてきたか。		
(2) 議会や住民への報告・説明をどのように進めてきたか。		
(3) さらに、住民の声を聞いて進めることを考えているか。		

令和5年大山崎町議会第2回定例会一般質問（③-2／2）

質問者	井上治夫（日本共産党議員団）	
質問事項	答弁を求める者	
<b>4. 加齢性難聴への補聴器購入補助制度の導入について</b> 令和4年度12月議会において、加齢性難聴者に対する補聴器購入補助を求めたが、「大山崎町の対象者が2,000人以上で4,000万円から6,000万円の事業規模となるため慎重な検討が求められる」「しかしながら、健康長寿のまちづくりを目指す私としましては、引き続き前向きに検討し、実現可能性を探ってまいりたい」との答弁があった。 加齢性難聴者への補聴器購入補助制度は、耳鼻科の医師の診断を受け、補聴器の必要性を認める証明（医師意見書）を受けた方を対象とするもので、事業規模は12月の答弁より小さいと考える。慎重な検討の進捗状況を問う。	町長	

令和5年大山崎町議会第2回定例会一般質問（④－1／4）

質問者	波多野 底砂（保守・本流・のぞみ）	
質問事項	答弁を求める者	
1. 町長の政治姿勢について  前川光共産与党町長の政治姿勢について問う。	町長	
2. 町長の公私混同行為について  町長の月額報酬月々106万円。特別公務員であり、民間のオーナー代表と異なるにもかかわらず、前川町長は公務業務、定時時間内に私的・ビリヤードに興じる1期4年間が忘れられずとかで今も続く。  前川光共産町長の公私混同の恥すべき行為について即時停止を求め、答弁を求める。  こうした異質な身勝手・わがまま・自己中心の手法は、社会主義国・プー氏流。なお、共産与党黙認の態。	町長	
3. 地下水について  地下水の夏目汲み上げについて、1ヶ所による大量に感謝であるも、その水源のルーツとは、上流域からの大量の河川からの侵透による。どうあれ伴う原因の周辺の地盤沈下を心配する。  (1) 仮に小学校のプールを「はかり」として1日に24時間で何杯か。※N H K報道でも地下水の汚染問題がクローズアップとは、P F A S（有機フッ素化合物）の新たな発見で、当町としても取り組むべき問題である。  有機フッ素化合物汚染問題として全国的に急浮上として、具体的に京阪神の各河川からも地下水へと混入で、汲み上げた水道水の利用で人体内に蓄積の血中濃度が20ng/mlを超えると健康に重大な問題が生じかねずの指摘について。  (2) 当町における地下水道水のP F A Sの対策について、以下の内容を伺う。	町長	

令和5年大山崎町議会第2回定例会一般質問（④-2/4）

質問者	波多野 広砂（保守・本流・のぞみ）	
	質問事項	答弁を求める者
	①検査の方法。 ②係る検査の日時。 ③結果の記録の実施と保存。 ④専門の公的機関。 ⑤係る政府の方針。 ⑥府内の指導内容等々。関連情報の完全開示を求める。 ⑦現状検査方法の精度は。 ⑧検査機器の有無。 ⑨検査は当町か外部専門委託か。	
4. P F A S を多く含む泡消火剤・ワックス化合物について		町長
泡消火剤・ワックス化合物にはP F A S を特に多く含むという。 ※当町域では昔、トンネル火災で大量に使われて当町内へと水路を経て拡散したのではないのか。関連情報を問う。		
5. 水路の方向性について		町長
当町域の表面上の基本的な水の流路の方向性について、北方向高位から南方向の低位への流れで地中も同様と思われる。異論はあるか。 天王山に関する雨水の流路についても、府道67号・西国街道下界隈が中心の流路を、かつて建設現場で確認したと思われるが異論はあるか。 ※私の見聞では、夏目の位置による地下水の汲み上げた水は、北の方から水であり天王山の水と異なる解釈であり、日吉ダムとは私の田舎、丹波の100%美味しい天然水への一本化を願っています。 (注)府営水 100%こそ純粋の天然水です。美味しい・無毒・水道料金格段に安価どころか既に支払っていながら、前川光共産町長による不		

令和5年大山崎町議会第2回定例会一般質問（④-3/4）

質問者	波多野 底砂（保守・本流・のぞみ）	
質問事項		答弁を求める者
	<p>作為により、日本一を競う高い水道料金の支払い高止まり状態を解決しない。出来ない理由は、前川光共産与党の政策やらずである。現状の地下水ワークを水道料金が高くても維持する前川光共産町長である限り、水道改革は進まず現状のままです。</p> <p>(注) 従って係る関連する下水道料金についても高止まりのまま改善出来ません。前川共産町長本人がやらない事実です。</p>	
6. 府営水について		町長
	<p>府営水の水源の日吉ダム、縁の多い丹波の降雨が嵐山へと、桂坂浄水場から乙訓2市1町に配水の形は、まさしく天然水と遜色ないと考えるがいかがか。</p>	
7. 地下水汲み上げの夏目浄水施設について		町長
(1) 築年数は。		
(2) 耐用安心年数はいつまでか。		
(3) 地下水汲み上げパイプの材質は。腐食消失の可能性を問う。		
(4) チェンジ・取替えは一からではないのか。		
(5) 施設丸ごと経年劣化で、その都度の部分修正での限界を越えていると想定するがいかがか。		
(6) この地でのやり替え新調の想定の問題点を箇条書き方式で答弁を求める。		
(7) 再構築するなら、この場所での想定費用を問う。		
(8) 再構築とするなら、天王山の水の影響エリアは南部の西寄り方向。適地はあるのか。探しているのか。		
(9) 再構築で府・国の補助の有無、並びに費用の何%となるのか。		
(10) 前川共産町政ではるべきハード事業が全く音痴。やらねば		

令和5年大山崎町議会第2回定例会一般質問（④-4/4）

質問者	波多野 広砂（保守・本流・のぞみ）	
質問事項	答弁を求める者	

ならないタイミングを外し、町民に損失を与えていた。

なお、真鍋共産町政で京都府を相手に水裁判を提訴で、全面敗訴は当然で結着したものの、悪夢の後遺症が続くとは、前川共産町政の明確化で、まさかの府との関係悪化で、結論、損をするのは私達全町民であり、現状も前川共産町政では何も進みません。

令和5年大山崎町議会第2回定例会一般質問（⑤-1/1）

質問者	島一嘉（大山崎クラブ）	
質問事項		答弁を求める者
1. 財産区について		町長
(1) 町内には大山崎区・円明寺区・下植野区と3つの財産区がある。それぞれ村であった歴史があり、3つの村が合併する時、各々の村が管理する池や山林などを財産区として合併した経過がある。町として財産区に対し、どのように考えるのか。		
(2) 町ではそれぞれの財産区に財産管理特別会計を設置しているが、その経緯と目的は。		
(3) 財産区の今後について、どう進める方針であるか。		
2. 町の水道事業について		町長
(1) 京都府水道事業広域的連携等協議会が進められているが、当町における将来の方向性はいかがか。		
(2) 多くの住民が望む水道料金の引き下げであるが、水道事業では安全性や危機管理、さらに持続性を確保するためには多くの予算が必要になる。その中で水源を一本化することでかなりの効果が期待できる。町の方針はどうするのか。		
3. 職員の資質向上について		町長
(1) 職員の途中退職は令和2年度3名、令和3年度3名、令和4年度9名である。終身雇用という考え方も変化しているが、町長は個別の状況をどのように認識しているのか。		
(2) 町職員の人手不足は住民も感じており、コンパクトな町だから我慢している部分もある。業務の複雑化が進む中でベテラン職員の退職は大きな痛手と感じるが、町は住民対応に不足が生じないよう、どのような対策を講じる考えか。		

令和5年大山崎町議会第2回定例会一般質問（⑥-1／1）

質問者	井上 博明（是々非々の会）	
質問事項		答弁を求める者
1. まちづくりについて		町長
(1) 安全なまちづくりが必要である。阪急大山崎駅前付近の歩行者に対する安全対策について問う。		
(2) 町内自治会や多くの住民から防犯カメラ増設の要望が届いている。対応について問う。		
(3) 中ノ池売却後、購入者任せの開発とするのか、町の対応策について問う。		
(4) 未活用町有地（水道用地を含む）の今後の活用方針について問う。		
(5) 「大山崎町円明寺ヶ丘団地居住者意向に関するアンケート調査結果」を踏まえた今後の対応について問う。		
(6) 役場周辺のシビックゾーンの再構築についての考え方について問う。		
2. 職員減少への対応について		町長
(1) 現状及び今後の採用計画について問う。		
(2) 離職者を出さないためにも職場環境の改善は必要と考える。職場環境についての考え方について問う。		
3. 幼保小中における学習環境について		教育長
(1) 給食の準備、食事時間等を配慮した昼休みの時間となっているのか。		
(2) 放課後児童クラブの現状の問題点と今後の対応策について問う。		

令和5年大山崎町議会第2回定例会一般質問（⑦-1／2）

質問者	辻 真理子（日本共産党議員団）	
質問事項		答弁を求める者
1. 中央公民館の安全性について	<p>今年度に入り各地で地震が頻発している。2016年に起きた熊本地震以降、安全性の確保を図るため、耐震基準を満たしていない中央公民館本館ホールが閉鎖された。既に7年間ホールは閉鎖されているが、その間も老朽化や雨漏りは進んでいる。</p> <p>(1) 閉鎖部分以外での雨漏り等による修繕の有無を問う。</p> <p>(2) 複合化施設整備における活用予定の地方債及び活用期限を問う。</p> <p>(3) 解体に掛かる期間（入札、契約、工事）。また、埋蔵文化財調査の期間を問う。</p> <p>令和8年4月に複合化施設をオープンするには、いつが解体工事入札のタイムリミットか。</p>	町長
2. 子ども達の居場所について	<p>令和5年4月1日に「こども基本法」が施行された。</p> <p>子どもたちの居場所づくりや、子どもの声を聞く仕組みづくりが重要とされている。</p> <p>(1) 今議会において平日の放課後の居場所として「放課後オープンプレイス運営事業」が提案されている。事業の具体的な取組内容や対象を問う。</p> <p>(2) 中学生や高校生が集まりやすい交流の場（サードプレイス）が欲しいとの声がある。現状と今後どのように考えているか問う。</p>	町長 教育長
3. 自転車乗車時のヘルメット着用について	<p>2023年4月1日から自転車乗車時のヘルメット着用が全ての人の努力義務となった。</p>	町長 教育長

令和5年大山崎町議会第2回定例会一般質問（⑦-2／2）

質問者	辻 真理子（日本共産党議員団）	
質問事項		答弁を求める者
(1) 中学生も対象となり、保護者から「クラブなど对外試合の際に自転車で行くがヘルメット着用については個人の判断なのか」「教育委員会や学校の方針は」等の声がある。教育委員会のヘルメット着用についての見解を問う。 (2) 教育の一環であるクラブ活動時の自転車での移動の際にはヘルメット着用を促進するため、ヘルメットの購入補助等してはいかがか。		

令和5年大山崎町議会第2回定例会一般質問（⑧-1/1）

質問者	西田光宏（大山崎クラブ）	
質問事項	答弁を求める者	
1. 安心・安全なまちづくりについて  （1）町内における危険箇所の把握、及び住民への防災教育の現状と課題について問う。 （2）避難施設の拡充に関して、どのような考えがあるのか。 （3）防災に関して、現状の危機管理体制と今後の方針を問う。 （4）府道・町道の交通環境、特に駅前周辺の朝夕の通勤・通学時間帯における安全確保に関する具体的な対策について問う。	町長	
2. 町の基盤整備について  平成29年度より令和4年度までの6年間にわたり、町行政主導で取り組んだ、JR山崎駅・阪急大山崎駅周辺のまちづくりのアイデア「あつたらいいな駅前ワークショップ」に関して、内容の分析は出来ているのか。また、その成果をどのように駅前地区の整備に向けて活用するのか。	町長	
3. 教育について  町立小学校における周年事業に関し、町長はどのように考えているのか。また、行政としての関わり方を問う。	町長	教育長

令和5年大山崎町議会第2回定例会一般質問（⑨-1／1）

質問者	堀内 古比呂（日本共産党議員団）	
質問事項		答弁を求める者
1. 住み続けられる大山崎町について  (1) 「大山崎町円明寺ヶ丘団地居住者意向に関するアンケート」は、マスターplanの作成のためだけに行われているように感じる。公社4階建てやテラスハウスの現状をどのように把握されているのか。  (2) 管理組合等に対し、具体的にどのような援助を考えているか。  (3) 住民の高齢化や病気等により、特に京都府住宅供給公社4階建て住宅は、ごみ捨てや買い物など、テラスハウスでは、庭木の手入れなど日常生活に支障をきたす事例がある。その対策が必要と考えるがいかがか。  (4) 住民の高齢化や病気等により、自治会役員や町内会役員の担い手不足が加速すると思われる。町として、どのような対策を考えているか。  (5) 空き家対策について問う。	町長	

令和5年大山崎町議会第2回定例会一般質問（⑩-1/1）

質問者	山中一成（大山崎クラブ）	
質問事項	答弁を求める者	
1. 町政の進め方について	町長	
(1) 住民の声を聞く方法について問う。 (2) タウンミーティングでの成果を問う。 (3) 町長就任から、これまでのワークショップでの具体的な成果を問う。 (4) 町長は議会を含め、住民や行政職員との調和・調整をどのように取り、町政をいかに進めていくのか。		
2. 子育て施策について	町長 教育長	
(1) 放課後児童クラブ（学童保育）の運営、今後の見通しについて問う。 (2) 町長は子育て施策の充実を図ると言っているが、これまで何をしたのか。 (3) 今後、子育て施策で具体的に何をしていくのか。		
3. 民間活用について	町長	
(1) 町長は民間に出来ることは民間に任せることを強調しているが、この間、何を民間に任せたのか。 (2) 今後、何を民間に任せようとしているのか。 (3) 改めて、民間活用について見解を聞く。		

令和5年大山崎町議会第2回定例会一般質問（⑪-1/2）

質問者	朝子直美（日本共産党議員団）	
質問事項		答弁を求める者
1. 新たな複合施設整備について	(1) 町は新たな複合施設について「これまでの機能に固執しない全く新しい施設」「公民館や長寿苑を利用したことのない住民にも魅力的な施設」「中高生も含め多様な世代が集い互いに交流できる施設」にしたい旨、答弁してきた。これらは、基本設計においてどのように具体化されているか。  (2) 新たなニーズに応えると同時に、従来の機能についても、継続、発展に必要なスペースを住民の声に基づき確保することを求めたが、基本設計ではどのように具体化されているか。	町長
2. 健康長寿のまちづくりについて	(1) 本町では、歯・口の健康が、健康長寿、介護予防のために重要な観点から75歳の方を対象とした歯科健診を実施している。一方20～30歳代でも3割が歯周病にかかっているとされており、対象年齢を大幅に広げる必要があると考える。他自治体で行われているような「成人歯科健診」の実施を求めるがいかがか。  (2) 加齢性難聴による、生活の質の低下を防止するためには、早期の受診と補聴器の利用による「聞き取り能力の悪化防止」が重要である。加齢性難聴と補聴器について住民のみなさんが理解を深められるよう、広報等での周知や講座の実施などに取り組むことを求めるがいかがか。  (3) 地域医療支援病院の指定を受けている京都済生会病院への通院に際して「長岡京市はっぴいバス」は無料で利用することができる。本町でも同様の仕組みを求める声がある。民間バス事業者と京都済生会病院の協力を得て実施するため、町が働きかけることを求めるがいかがか。	町長

令和5年大山崎町議会第2回定例会一般質問（⑪-2／2）

質問者	朝子直美（日本共産党議員団）	
質問事項		答弁を求める者
3. 物価高騰から町民生活を守る施策について  (1) 上下水道基本料金免除の実施を求めるがいかがか。 (2) 物価高騰に加えて、昨年10月からの医療費窓口負担割合の見直しで、くらしが厳しくなっている高齢者に対して、給付金の支給などの支援を求めるがいかがか。 (3) 電気、ガス、ガソリンなどの値上がりが、中小零細事業所や、福祉・介護・保育・医療現場の経営に影響を与えていていると考える。実情を把握し、支援策を実施することを求めるがいかがか。	町長	